

Office Address:
4/F, Erythrina Bldg., #1 Maaralin
Street
Bgy. Central, Quezon City,
PHILIPPINES
Telefax 435-6930



Email: bayan_national@yahoo.com
Website: www.bayan.ph

フィリピン新民族主義者同盟 (**BAYAN**) **BAGONG ALYANSANG MAKABAYAN**

岩国の人々および AWC への連帯メッセージ

フィリピン新民族主義者同盟 (BAYAN) は、米軍岩国基地強化の一部としての愛宕山米軍住宅建設に反対して、2010 年 8 月以来毎月 3 回行われてきた定期的な抗議行動の 5 周年にあたり、岩国の人々に熱い連帯のあいさつを送ります。

私たちは、岩国市民や AWC その他のグループの皆さんの岩国基地に対する抗議の取り組みに力づけられています。

米軍岩国基地に反対するたたかいは、より多くの日本人々、世界の人々からの支持を受ける必要があります。なぜなら、それは日本「本土」における反米軍基地運動の発展の鍵となるからです。

過去五年間にわたって、岩国の人々および岩国内外の支援グループの皆さんは、外国軍基地を受け入れることによってもたらされる危険や被害を知らせ、米軍基地の撤去を求めて何千人もの人々が立ち上がるように、たゆむことなく集会、フォーラム、日本政府への申し入れ、署名活動、労働組合や環境団体など様々な層への啓発活動を行ってきました。

米日政府による米軍岩国基地の強化を問う 2006 年の住民投票では、87 パーセントの岩国市民が「NO!」の声をあげました。

米国の戦略は、米軍岩国基地を北東アジア最大規模の軍事基地とすることです。そのために、米国のアジア太平洋回帰の実行として、約 120 機の最新鋭戦闘機を配備しようとしています。1951 年に日米安保条約が締結されると、旧日本軍海軍基地は公式に米海兵隊のための飛行場とされました。

フィリピンの米軍基地が 1950 年代から 1990 年代初期までに果たした機能と同じように、米軍岩国基地も米国の朝鮮、ベトナム、イラクなどに対する戦争の出撃拠点として利用されました。

米軍岩国基地は米国の敵による対抗攻撃に対する空中での支援を提供します。岩国市民の反対にもかかわらず、米軍はいまなお神奈川県厚木基地から 59 機の米海軍戦闘機と 1600 人の米兵を岩国基地に移駐させようとしています。米国はまた、朝鮮民主主義人民共和国や中国のいわゆる脅威に対抗するためとして、2017 年までに F-35 ステルス戦闘機を配備しようとしています。

BAYAN は繰り返し言いたいと思います。米軍岩国基地に反対する継続的な運動には、世界の人々の連帯が必要です。なぜなら、それはアジア太平洋における米国の主要な同盟国である日本における米国基地を拡張・強化しようとする米国の計画の一部だからです。

私たち BAYAN とその参加団体は、岩国の人々や AWC をはじめ日本の反戦・反核グループと共に、岩国、沖縄、日本のその他の地域、フィリピン、そして世界から米軍基地を撤去するためにたたかうことを誓います。なぜなら、それらの施設は米国が世界の人々に自らの意思を押しつけるための恐怖の施設、テロ施設だからです。###